

成分表（飲用その1）	令和3年7月29日分析
1. 温泉湧出地	熊本県人吉市九日町32番地3号
2. 泉質	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉（低張性 弱アルカリ性 高温泉）
3. 泉温	49.1°C
4. 温泉の成分	下記の通り

解離成分総量	1596mg/kg
--------	-----------

●陽イオン

成分	mg/kg	mval	mval%
リチウム	0.4	0.06	0.27
ナトリウム	473.4	20.59	93.42
カリウム	41.5	1.06	4.81
マグネシウム	1.3	0.11	0.5
カルシウム	4.2	0.21	0.95
ストロンチウム	0.3	0.01	0.05
鉄（II）	0.1	0	0
陽イオン計	521.2	22.04	100

●陰イオン

成分	mg/kg	mvel	mvel
ふっ化物	2.8	0.15	0.59
塩化物	257.1	7.25	33.3
臭化物	0.8	0.01	0.05
硫酸	163.6	3.14	15.66
炭酸水素	667.9	10.95	50.3
陰イオン計	1092	21.77	100

●遊離成分

非解離成分	mg/kg	mmol/kg
メタけい酸	168.2	2.15
メタほう酸	15.1	0.34
非解離成分計	183.3	2.49

溶存ガス成分	mg/kg	mmol/kg
遊離二酸化炭素	—	—
遊離硫化水素	—	—
溶存ガス成分計	0	0

ラドン含有量	2.46 × 10 ⁻⁴ Ci/kg
ラドン濃度	0.81M・E/kg pH値 7.92 (25.0°C)

溶存物質総量	1797mg/kg
総成分量	1797mg/kg

●その他微量成分

バリウム	0.04mg/kg
マンガン	0.03mg/kg
水酸化物	0.01mg/kg

銅、亜鉛、カドミウム、鉛、チオ硫酸の各イオン、総ヒ素、総水銀はいずれも検出しない

令和3年7月29日分析

成分表（飲用その2）	
1. 禁忌症	なし
2. 適応症	萎縮性胃炎、便秘、胃十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、糖尿病、高尿酸血症（痛風）
3. 飲用の方法及び注意	<p>(1)飲料治療に際しては、専門知識を有する医師の指導を受けてください。また、服薬治療中の人は、主治医の意見を聴いて下さい。</p> <p>(2)15歳以下の人については、原則的には飲用を避けてください。ただし、専門知識を有する医師の指導を受ける飲泉については例外です。</p> <p>(3)飲泉は決められた場所で、源泉を直接引いた新鮮な温泉を飲用してください。</p> <p>(4)温泉飲用の1回の量は一般に100～150mL.程度とし、その1日の総量はおよそ200～500ml.までとしてください。</p> <p>(5)飲泉には、自身専用又は備えてある使い捨てのコップを用いてください。</p> <p>(6)飲泉は一般に食事の30分程度前に行うことが望ましいです。</p> <p>(7)飲泉場から飲用目的で温泉水を持ち帰らないでください。</p> <p>(8)飲用する際には、誤嚥に注意してください。</p> <p>(※)誤嚥とは、うがいや焦って飲むことなどにより、肺や気管に水分を吸いこんでしまう事をいいます。嚥下障害を発症している人は飲泉を行わないでください。</p>